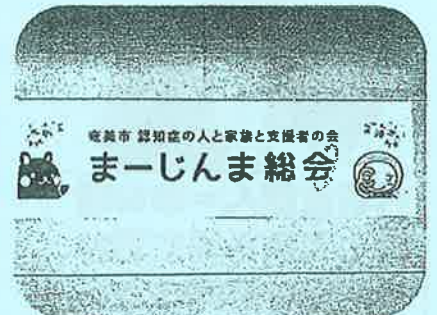
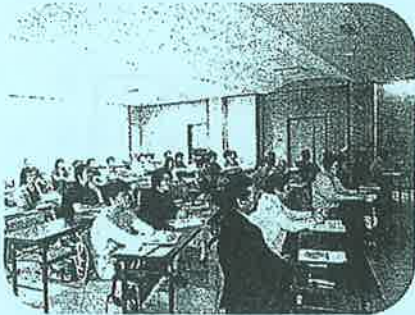


会報 まーじんま

第2号

平成27年 7月発行
(2015)

つながればきっと明かりが見えてくる ひとりで抱え込まず いっしょに手をつなごう！



結成1年目を迎え

“まーじんま”の会 総会開催！

平成27年5月24日 AiAi広場にて「奄美市認知症の人と家族と支援者の会」(まーじんま)の総会が開催されました。

当日は会員や家族、支援者が集い会結成1年目を祝うとともに今後の活動について話し合いました。顔見知りも増え、気心も知れてきた中終始和やかな雰囲気では進行しました。

またご来賓として奄美市保健福祉部長 泉氏、大島郡医師会会長(代理) 稲氏、からご祝辞をいただきました。他にも名瀬保健所長、奄美病院認知症疾患医療センター、大島郡医師会在宅医療連携支援センターのご参加いただきました。引き続き、奄美市、名瀬地域包括支援センターのみなさまにはこの一年会の運営に側面からご協力いただきました。本当にありがとうございます。

まだ結成間もない会で手探り状態での活動ですが、“まーじんま”の集まりに参加するようになって前向きに認知症と向き合うことができ、明るく生きていけるようになったとの声が会員の中にたくさん聞けるようになり手応えを感じます。

これからも会員の拠りどころとして中身を充実して地道に活動を続けていくことが大事ですね！

今年ダカ、マージンマ、エイトキパリオウロヤ！！

●総会あいさつ

本日は梅雨に入り足下悪い中、私たち奄美市「認知症の人と家族と支援者の会」平成27年度総会にお集まりをいただきありがとうございます。

また、ご多忙中にもかかわらず各関係機関からご出席を賜りましたご来賓の皆様方には、心より厚く御礼申し上げます。

さて、“まーじんま”は昨年5月ここAiAi広場で設立総会を開催し一年が経ちました。何分試行錯誤しながらの運営でしたが会員や支援者関係機関のご支援ご協力で活動を進めることができました。

手作りの活動で内容もまだ十分ではありませんが、この総会で一年間をふり返り今後へ向けより良い方向性を見つけたいと思います。

我が国は少子高齢化、核家族化の中で高齢者の一人暮らしや介護、子育てなど多くの面で社会の支えが必要となっています。私たち“まーじんま”の支え合いは微力ではありますが今後なお一層重要となります。社会は、もう行政依存型の制度だけでは支えきれなくなってきています。地域で住民同士が支え合う仕組み作りが求められています。年齢を重ねても最後まで自分が望む所で心豊かに暮らしたい、その願いを叶えたいものです。

私たち“まーじんま”は、一人ひとりの生活を地域のネットワークで支えるボランティア、活動支援の輪へ微力ながら取り組んでまいります。

今後も私たち“まーじんま”の活動をご理解いただき、会への関係者各位のご指導ご支援をお願いいたしまして、簡単ですが「奄美市認知症の人と家族と支援者の会」(まーじんま)を代表しましてのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

代表世話人 屋村 賢良

「まーじんま」の理念

認知症の人と介護する家族、支える人がつどい、介護者が一人で悩まず心を開いて、まーじんま(一緒に)励まし支え合い、そしてともに学ぶことで認知症に対する理解を深め、よりよい介護を目指します。

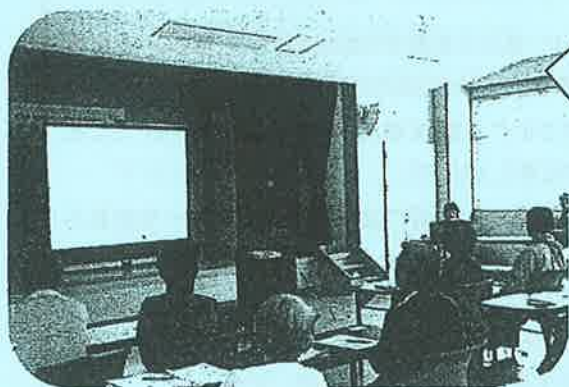
総会の様子



代表世話人=市の理解と支援を得て更なる活動を展開する



来賓 (医師会、稲氏) = 認知症の症状は自分の鏡。優しく接すれば相手は穏やかになる。人として試されている！
地域力も試されている。地域で支える病である。



名瀬地域包括支援センター (活動報告)
高齢者の増加で地域包括ケアシステムの構築が急務
認知症対策一國は重点施策 (新オレンジプラン) に位置付け
認知症者の割合—2012年高齢者の1/7→25年1/5人
奄美市の現状— (平成25年4月現在)
認知症高齢者 1893人 (65歳以上の15.6%) *65歳未満 49人



会員の声—

・例会の時は駐車場の確保を
会員に会費徴収の徹底を、会費の件を知らなかった…
・会が中心にならず治療薬の開発促進の要望を！



※一人ひとりの意見を大切に、
“ま〜じんま”の会は活動していきます！

・世話人紹介—新世話人3名を加え8人体制に！

【新任者】

我那覇博茂、高橋道代、手塚由美子

感じたこと・要望など（アンケート結果より）



楽しく発言でき笑顔になれる

癒される。リラックスできる

楽しく話ができる場

元気になった

会員の特技披露が楽しい

何でも自由に発言できる

楽しんで参加できる場

笑顔で話ができる

心がほっこりする

一人で悩まず、笑顔で介護
できる気持ちになる

色んなことを学び安心して介護で
できるようになり心に余裕が持てる

同じ境遇の人に出会える

“ま〜じんま”
例会活動に
参加して

学習できる

共感できる

学ぶことができる

介護体験事例はとて
も参考になる

笑顔で話が分かち合える

悩んでいるのは自分だけでは
ないと強く感じた

これからの活動に対する要望

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 認知症予防として健康体操 | 5. グランドゴルフ |
| 2. 事例発表 | 6. 遠足 |
| 3. 苦勞ばなし・・・体験談 | 7. レクリエーション |
| 4. 介護者の気持ちの切り替え方に対する話 | 8. 忘年会 |



その他の要望

1. 治療薬の開発促進要望を、市・県・国へ訴えてほしい
2. ま〜じんまのカフェ、イベント等できる場所を

会費について

1. 総会時に一年間の会費をもらう
2. 支援者や関係者も会費をもらって良いと思う



●関係機関活動紹介…《奄美病院認知症疾患医療センター》

(平成 25 年県の指定を受け開設)

○目的：奄美群島の認知症疾患患者や家族のための支援を行う

○活動内容

①鑑別診断（メモリーケア外来）

認知症か、その他の病気か…。認知症だとしたら、どんなタイプの認知症か…。認知症の種類や症状により治療や対応の仕方が変わる。的確な診断で今後の治療・支援に役立てる。

②地域包括支援センター、介護保険事業所、かかりつけ医療機関との連携

関係機関どうしが連携し合い、認知症の方を支援するため、一緒に考え協力する。

③かかりつけの医者や専門職への研修

認知症の早期発見・診断・治療にはかかりつけ医や日常ご本人と接する専門職の視点が欠かせない。認知症の理解を深め、専門機関への連携を適切に行えるよう研修を行う。

④家族や地域住民への普及啓発

認知症の方への見守りサポートにはご家族・地域住民など多くの支援が必要です。そのために認知症の理解を深める講演会や啓発の活動を行う。

▼地域で、職場でこんなことしてほしい！ お気軽に連絡、ご要望をお寄せください。皆さまと一緒に考え活動して行きます。

※奄美病院 家族教室のご案内（平成 27 年度上半期分）

- ・7月7日（火）「成年後見制度について」
- ・8月4日（火）「認知症って、どんな病気？」
- ・9月8日（火）「認知症への接し方」

○時間：午後 2 時～3 時半

○場所：奄美病院 新デイケア棟 2F（旧南西整形外科跡）

※前日までの申し込みが必要です

連絡先 {奄美病院 医療福祉相談室 担当 吉村} 電話 53-1200 まで

認知症のこと いっしょに（ま〜じんま）考えませんか！

奄美市認知症の人と家族と支援者の会

“ま〜じんま”

- ◎代表世話人 屋村賢良 副代表世話人 福岡京子
世話人 勇 寛和 重井英二 三井七菜重 我那覇博茂 高橋道代 手薮由美子
●年会費 一世帯 1,000 円

お問い合わせは下記まで

〒894-8555 奄美市名瀬幸町 25-8

奄美市名瀬地域包括支援センター

奄美市役所高齢者福祉課

TEL 0997-55-1165(直通)

TEL0997-52-1111(内線 1695)



ま〜じんま